



富士特だより

【めざす学校像】

児童生徒一人一人の自立を育てる 笑顔

あふれる学校

富士見市立富士見特別支援学校

令和3年6月1日(火) 第3号

「たくさんの応援、ご支援ありがとうございました。」

先月は、個別面談や運動会の参観にご協力いただきありがとうございました。今年は、学部ごとではありましたが、お陰様で無事運動会を開催することができました。保護者の皆様に心温まる声援をいただくことで、子どもたちが練習以上に力を発揮することができ、笑顔がたくさん輝きました。また、5月18日、熊谷陸上競技場で開催された埼玉県特別支援学校陸上大会に高等部9人の有志が参加しました。県内で頑張る仲間が存在に勇気づけられたり、学部の仲間の頑張りに刺激を受けたり、来年に向けての目標設定ができたりと、多くの成果を持ち帰ることができました。保護者の皆様のご理解とご支援に心より感謝申し上げます。

「子どものすることには意味がある！本質を見極めることが重要！」

西日本の梅雨入りの、あまりの早さに驚かされましたが、関東甲信地方も平年より少し早い梅雨入りとのことです。しばらくは鬱陶しい梅雨空とのつきあいが続きそうですが、今年は大雨による被害が出ないことを願うばかりです。

さて、下のイラストをご覧ください。誰もが慣れた、梅雨を象徴するイラストです。しかし、このカットには、大きな間違いがあります。皆さんはお気づきになったでしょうか？実は、紫陽花（あじさい）の葉には、アルカロイドという毒素が含まれており、人間や動物が食べると嘔吐等の中毒症状を引き起こされます。ですから、自然界では、カタツムリが希に雨粒を避けるために葉の裏に付いていることはあっても、カタツムリが紫陽花の葉を食べることは勿論、葉の上に乗っていたり、這い回ることはありえません。紫陽花もカタツムリも、梅雨の季節感たっぷり、存在感たっぷりですが、創られたイメージがいつしか定着してしまったということなのです。余談ですが、カタツムリの大好物は、ずばりコンクリートやブロックなのです。理由は、殻の成分であるカルシウムを含んでいるからです。これが、梅雨と紫陽花とカタツムリを取り巻く“本質”であり、真相なのです。そうだとすると、コンクリートやブロック塀の上を這うカタツムリでは、残念ながら趣（おもむき）は感じられませんね。（笑い）

このエピソードからお伝えしたいのは、物事の本質に迫ることが如何に重要かということであり、教育活動を展開する上で、「リサーチ=R」が最も大切であるということです。

本校では、富士見市教育委員会より委嘱を受けてこのことをテーマに学校研究に取り組んでいます。



「子どもの力を伸ばす自立活動の時間における指導」

～RPDCAサイクルの充実をめざして～

R（リサーチ＝実態把握） P（プラン＝計画） D（ドゥ＝実施）
C（チェック＝評価） A（アクション＝改善）



本人や保護者の皆様の思いや願いを十分知ることは大切なリサーチです。お子様やご家族の今までのヒストリーを知ることも大切なリサーチです。社会情勢や先行き不透明なこれからの時代を生き抜くために必要な“生きる力”とは何かを探ることもリサーチです。お子様の将来に向けての可能性をイメージすることもまた、大切なリサーチです。こうしたリサーチを行うことで、〇〇障害だから□□であるというレッテル貼りやラベリングを避けることができ、より効果的な学習活動の展開が可能になります。実は、本校の新型コロナウイルス感染症防止ガイドラインも科学的エビデンスとリサーチに基づいて作成しています。

学校研究ともども、今後とも、保護者、地域の皆様のご理解ご支援をお願いいたします。

校長 阿部 和彦

5月の取り組み

運動会&陸上大会特集

昨年度は中止だった運動会や陸上大会・今年度は開催することができました！運動会では、全校の投票で決めた「みんなでチャレンジ ネバーギブアップ」のスローガンのもと、「自分の中での1番」を發揮しようと頑張りました。PTAから1人1人にお菓子もいただきました。ありがとうございました！

高等部 (14日)



中学部 (26日)



小学部 (28日)



特体連陸上大会(高等部)

